

第2学年1・2組男子 保健体育科学習指導案

指導者 矢野 竜介

1. 単元名 武道「柔道」

2. 単元について

- (1) 柔道は我が国固有の文化であり、相手と直接組み合っ、基本動作や基本となる技、連絡技を用いて相手と攻防しながら、互いに「一本」をめざして勝敗を競い合う運動である。そして、武道として伝統的な行動の仕方が重視されるとともに、礼儀作法を尊重して練習や試合ができることを重視する運動でもある。また、技能を身に付けながら互いに高め合う楽しさや喜びを味わうことができる。なお、柔道は身体接触を伴う対人的な運動であるため、安全についても留意させるために重要な単元である。

- (2) 本学級の生徒は、1組20名、2組20名、計40名で、授業に対して明るく活発に取り組める。準備や片付けにも進んで取り組もうとする生徒が多く、大きな声を掛け合いながら積極的に活動することができている。

1年時は、礼法や受け身を中心とした反復練習を数多く実施した。その上で今年度アンケートを実施したところ、柔道の授業は楽しいと答えた生徒は3割、あまり楽しさを感じられないと答えた生徒は7割であった。固め技や投げ技の試合をたくさんしたいという意見もあがった。勝敗を競い合い互いに高め合う楽しさや喜びを味わわせたいが、恐怖心を感じている生徒がわずかにおり、柔道の楽しさを見い出せていない状況もある。

- (3) そこで指導にあたっては、次の点に留意したい。
- ・ 互いに協力し、自ら進んで意欲的に取り組む力、柔道に親しむ態度、ルールを守り相手を尊重する態度を身に付けさせる。そのために、練習を工夫し、基本となる投げ技や固め技を身に付けて攻防を楽しませたり、礼法を確実に行わせたりする。
 - ・ 基本となる投げ技や固め技を身に付けさせるために、二人一組の対人で、かかり練習や約束練習をさせる。
 - ・ 柔道の楽しさを見い出すために、簡易ゲームを多く実施し、学んだ技を使いながら勝敗を競わせる。
 - ・ 問い返しのある学び合いをさせるために、ペアや少人数グループでの活動時間を取り、互いにアドバイスしたり、技を披露し合ったりすることであらゆる視点から考えさせる。

3. 学習指導目標

- (1) 柔道の特性に関心を持ち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組むことができるようにする。
- (2) 伝統的な行動の仕方に留意して互いに相手を尊重し、練習や試合を行うことができるようにする。
- (3) 柔道の特性に応じた技能を身に付け、相手の動きに応じた攻防を展開して、練習や試合ができるようにする。
- (4) ルールや技の名称、審判の方法を理解させる。

4. 学習指導計画（全10時間）

- (1) オリエンテーション、基本動作、礼法・・・2時間
- (2) 受け身、固め技、投げ技・・・・・・・・・・6時間（本時2／6）
- (3) まとめ、評価・・・・・・・・・・2時間

5. 本時の学習指導

(1) 題材 固め技

(2) 本時の目標

① 約束練習を通して、互いに協力することの大切さに気付くことができる。

② 固め技の入り方と返し方を身に付け、簡易試合で実践的な動きができる。

(3) 学習指導過程〔★UD 化の視点からの支援、今年度の重点課題の場面とその支援〕

学習内容および学習活動	予想される生徒の反応	指導上の留意点および支援
1. 集合して体操をする。 2. 服装を整え、挨拶をする。 (1) 本時の授業の流れを聞く。 (2) 回転運動や基本動作をする。 前転、後転、開脚前転、開脚後転、後ろ受け身、前回り受け身 3. 前時の復習をする。 固め技の名前、ルール、入り方、応じ方 4. 本時の学習課題を確認する。	・けがをしないように十分に体を動かそう。 ・大きな声でしよう。 ・礼法を正しくしよう。 ・どんなことを学ぶのだろう。 ・正しい動作で補助運動をしよう。 ・受け身もきちんと復習しておこう。 ・固め技の種類や入り方を思い出そう。 ・応じ方はどうすべきだったのかな。	・けが防止のために、体を十分にほぐすように助言する。 ・柔道着の着方や礼法に間違いがないかを確認する。 ・規律を守らせるとともに、体ほぐしのために回転運動や基本動作を大切にしよう助言する。 ★実際に生徒に模範演技をさせて、それに応じた説明を心がける。
本けさ固めを使って抑えたり返したりしよう。		
5. 同体重程度の2人組で本けさ固めを確認し合う。 6. 全体を2グループに分け、2人組でかかり練習を行う。 (1) 本けさ固めの形を作った状態から開始する。(15秒間×2) (2) 他方のグループも同様にかかり練習を行う。 (3) ペアで気付いたこと発表し、話し合う。 7. 本時の振り返りをする。 (1) 振り返りシートに気付いたことや感想を記入する。 (2) 全体で発表し、共有する。 8. 挨拶をする。	・本けさ固めで、右手で後ろ襟を握ることに注意しよう。 ・15秒間抑えきれないように頑張ろう。 ・相手に足を絡めて、抑え込みから逃れよう。 ・学んだ返し方を実践してみよう。 ・抑え込まれた状態から相手を返すのは難しいな。 ・相手に足を絡める方が簡単だったかな。 ・本けさ固めの抑え込み方や返し方がよく分かった。 ・次こそは15秒間抑えきれないように頑張ろう。 ・礼法を正しくし、大きな声で挨拶をしよう。	★相手を尊重し敬意を表す気持ちを持ち、正しい動作と手順で行うことを助言する。 ★隣のペアとの接触を避けることや危険な行為をしないことを助言する。学習課題に着目させ、積極的に抑えたり返したりすることを呼びかける。 ・お互いの考えを発表することで、共通点や相違点といった新たな視点から捉え直すよう助言する。 (評) 積極的に抑えたり返したりすることができたか。(観察) 教科書や板書、模範演技を参考にし、技の入り方と返し方を再確認させる。 ・健康観察を行い、速やかに着替えるように指示する。

(4) 評価

① 本けさ固めを用いて積極的に攻撃ができたか。

② 安全に留意して授業に取り組み、話し合っって抑えたり返したりすることの楽しさや難しさに気付いたか。